

日本語、英語、ポルトガル語など複数の言葉やピクトグラムでわかりやすく書かれています。音声案内や触ってわかる案内板もあります。

車いすマークの駐車場は幅広く作られています。車いすの人はドアを大きく開けて乗り降りする必要があります。

浜松にはアクトシティ周辺にあります。重い荷物を持った人にも便利です。

駅や公共施設で見られます。状況にあわせて自分にあった方法で、利用できます。

力の弱い人、手の不自由な人でも使いやすく、安全性を考えて作られたいろいろな種類のUD文具があります。

500ミリリットル以上のパック牛乳とそれ以外のパック飲料の區別をするためにしています。切欠きの反対側が開け口です。

高さが低いカウンターでは、車いすの人や高齢者が座ったままで対応できます。

- | | | |
|-------|-----------|----------|
| UD7原則 | 1 公平性 | 2 自由性 |
| | 3 単純性 | 4 分かりやすさ |
| | 5 安全性 | 6 省体力 |
| | 7 スペースの確保 | |

誰でもわかるように、全国统一された音です。時間表示のついた信号機もあります。

「お手伝いしましゅか。」「の一言が、障がい者、高齢者、妊婦さんなどにとって、安全に外出するための何よりの支えになります。」

バリアフリーは既にあるバリアをなくすことです。最初からバリアがないように配慮することがユニバーサルデザインです。

不便だとの声を聞いたあるシャンプーマーカーが、1991年からシャンプーにギザギザを付けました。現在では、たくさんのメーカーで付けています。

みただけで分かる絵文字をピクトグラムといい、子どもや外国人にもすぐ理解できます。

蛇口の下に手を出すだけでセンサーが感知するので力の弱い人でも使え、清潔で止め忘れがありません。

浜松市では、UD条例やUD計画を作って「思いやりの心が結ぶやさしいまち」の実現を、みんなが目指しています。

車いすの人が使える広さ、赤ちゃんのおむつ替えシート、事故や病気により人口肛門を付けている人が使うオストメイト対応設備などが付いています。

浜松市UD条例は平成15年4月に施行しました。すべての人が安心安全で快適に暮らすことができる社会を築くことを目的としています。

日頃から地域の人と仲よくし、お互いに支え合う関係づくりをすることが大切です。

点字ブロックは、目の不自由な人が安全に歩くために不可欠なものです。この上に自転車などを置かないよう注意しましょう。

UDタクシーは、車いすの人や高齢者、また大きな荷物を抱えた人や、自転車も乗せることができる誰もが利用しやすいタクシーです。

言葉には人を元気づけたり心を温かくする力があります。思いやりの気持ちを持ってコミュニケーションをとりましょう。

車いすなどが通過できるよう幅が90センチメートル以上(通常は60センチメートル程度)の改札口(自動改札)が設けられています。

背の高い大人や、低い子どもも自分にあった高さの手すりが選べます。

幅広い皿状のコイン投入口や高い位置の取り出し口、低い位置の押しボタンなどの工夫がされています。

脱ぎ着しやすだけでなく、年齢、体型、サイズ、身体機能等にかかわらずなく、誰もが楽しめるデザインとなっています。

浜松市のあんしん情報キットは、65歳以上のみの世帯や障がい者などに配布し、緊急時の連絡先や持病、薬、かかりつけの医師名を記入するもので、冷蔵庫に保管しておきます。

「誰もが暮らしやすいまち」とはどんなまち?一人ひとりが何ができるか考えて行動することが大切です。

浜松市独自のハートマークの駐車場(思いやり駐車場)は、乗り降りに広いスペースを必要とする高齢者、障がい者、ベビーカー使用者等のための優先駐車場です。

ノンステップバスは、床面の高さが路面から27センチメートル以下(通常は約90センチメートル)と低く、高齢者や車いすの人なども乗り降りしやすくなっています。

ホームページには、文字サイズ変更、画面配色変更、音声読み上げ、ふりがな、言語変更などの機能が備えられたものが増えています。

矢羽根式サインは、目的地の方向を矢印で示し、施設によって色分け（公共施設は緑、民間施設は青、通り・町名は白）をしています。

アクト通りには、ちょっとした休憩用のベンチ、段差が少ない緩やかな階段やスロープなどがあります。

ボタン操作による音声案内、触知地図での案内の両方に対応した案内板があります。また、カード型発信機を持って近づくと現在位置と使い方を音声で案内します。

ユニバーサルサービスとは、子どもから高齢者まで、また障がい者などサポートが必要な人にも配慮し、全ての人に公平な情報やサービスを提供することです。

以前は、缶詰や袋物は、専用の道具やはさみがないとうまく開封することができませんでした。現在は簡単に手で開けることができる製品が多くなりました。

目の不自由な人へ情報を伝える手段の一つで、話している内容を要約し文字で伝えます。聞き逃したところの確認ができるなど誰にとっても便利です。

車道と歩道を分離するUDBロックは、段差がないので車いすの人にも安全です。ブロックに溝をつけることで目の不自由な人が車道と歩道を区別できます。

上から見て量ることのできる計量カップ、液漏れしない醤油さし、食材が見やすい黒いまな板など、ちょっとした工夫で誰もが使いやすい用具になります。

盲導犬は、目の不自由な人の歩行を助け、聴導犬は、耳の不自由な人に生活に必要な音を知らせます。介助犬は、体の不自由な人のために日常生活をサポートします。

「はままつUD市民リーダークラブ」は、浜松市が実施したUD市民リーダー養成講座の修了生の有志が設立した団体です。市民協働でUDを広めます。

図書館・駅・バスターミナル・公園などは、様々な人が使います。どんなことに注意をして使ったらよいか考えてみよう。

れ

交通機関用ICカードは、切符の購入や整理券をとる必要がないので、誰にとっても便利です。

ろ

路面誘導サインは、子どもや車いすの人の低い目線でも見やすくなっています。街中には37箇所あります。どこにあるか探してみよう。

わ

浜松市のごみ分別収集カレンダーは、色のユニバーサルデザインに配慮して製作されています。色弱者にも分かりやすい色使いなどが大切です。